

北海道の沿岸及び河川にサケが本格的に回帰しはじめ、秋サケ定置網漁業が盛漁期を迎えています。これまでのところ、来遊数は前年と比較して大幅増となる模様です。

「さけます来遊状況」の第 3 回目として 9 月 30 日現在のカラフトマス及びサケの来遊状況についてお知らせします。

なお、取りまとめにあたり、迅速な情報提供などのご協力を頂いた北海道及び増殖団体の関係者に感謝いたします。

1 カラフトマス来遊状況

- ・ 来遊数は 1,110 万尾 (対前年同期比 160%) と前年を大幅に上回る
- ・ 地域別では、太平洋側で 61 万尾、日本海側で 1,049 万尾
- ・ 今年は豊漁年に当たり、来遊は前年と比較して 1 旬程度早い

(北海道)

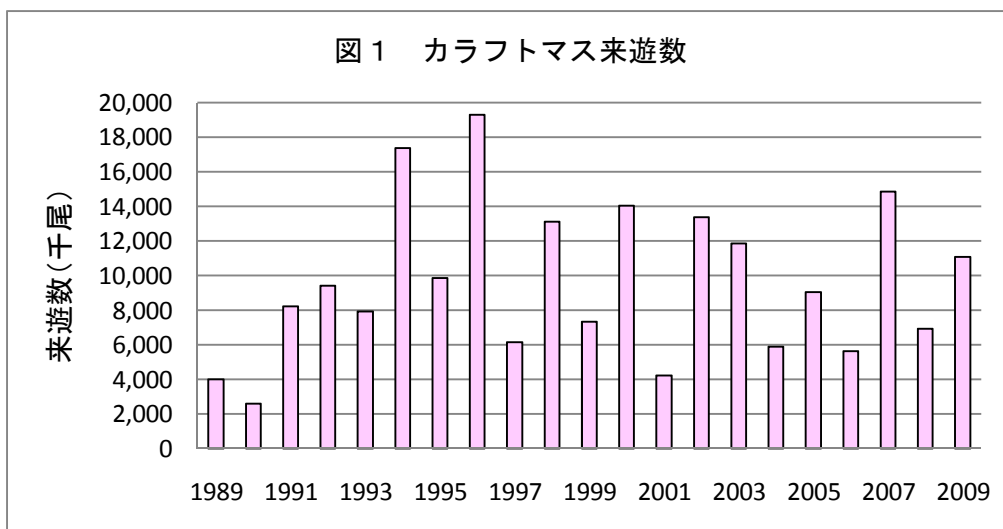
北海道のカラフトマスは各地域ともに終漁期を迎えています。9 月 30 日現在における来遊数 (全国の沿岸での漁獲数と河川での捕獲数の合計) は 1,110 万尾 (対前年同期比 : 160%) を示し、前年を大幅に上回る状況となっています (表 1)。これは、カラフトマスが隔年で資源変動する特徴があり (図 1)、今年、平成 21 (2009) 年が豊漁年に当たるためです。なお、来遊数について近年の豊漁年と比較すると、平成 17 (2005) 年より多いものの、平成 19 (2007) 年より少なく、対平年 (平成元(1989)年~20(2008)年の平均値、以下同) 同期比では 115% を示し、豊漁年としてはまずまずの好漁となっています。

地域別では、太平洋側 (根室~えりも以西海区、以下同) で 61 万尾 (対前年同期比 : 137%)、日本海側 (オホーツク海区及び日本海区、以下同) で 1,049 万尾 (対前年同期比 : 162%) を示し、日本海側での増加割合が太平洋側と比べて大きくなっています。

表 1 : カラフトマス来遊状況 (北海道)

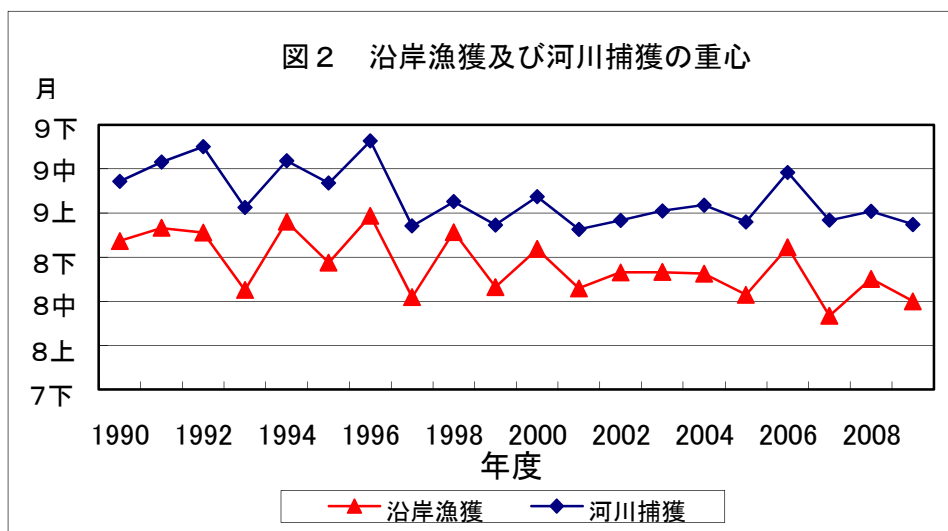
単位 : 万尾

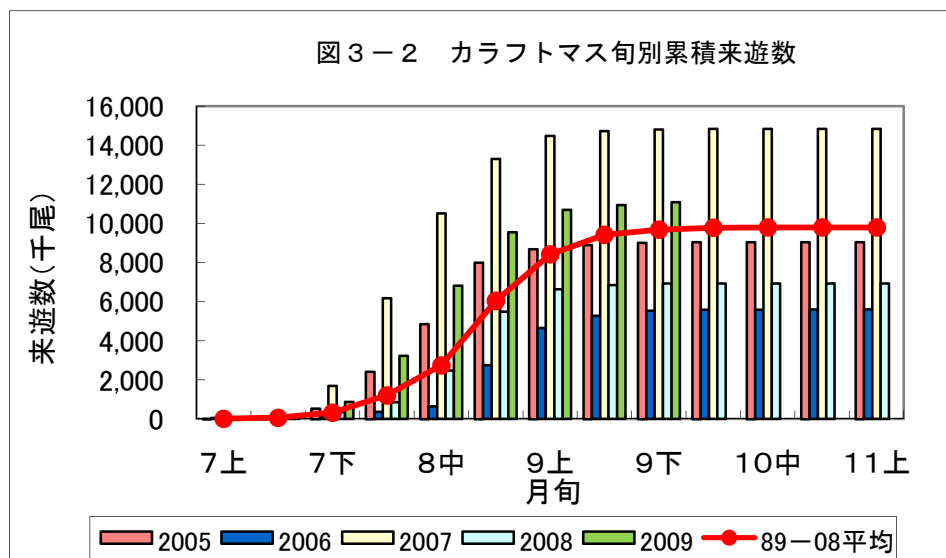
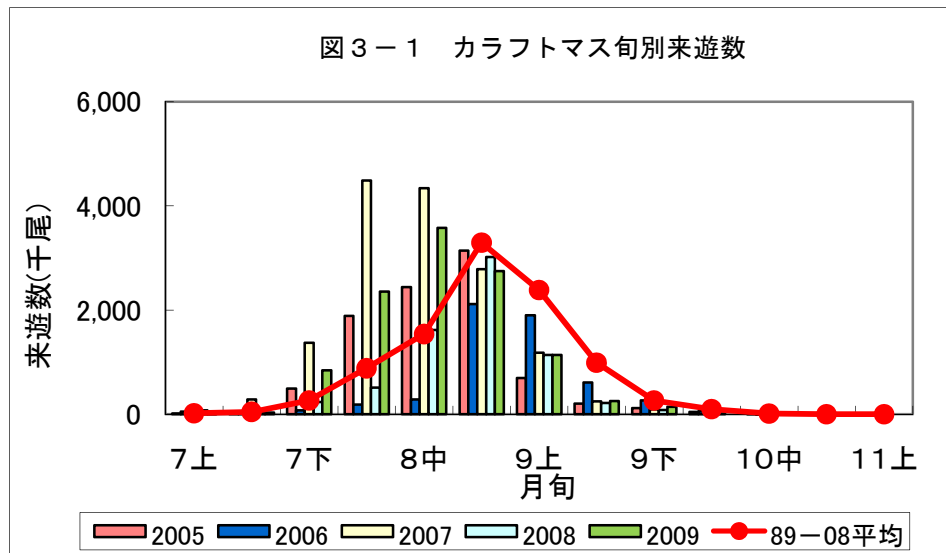
	来遊数		沿岸漁獲数		河川捕獲数	
	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終
2009 (H21)	1,110	-	983	-	128	-
2008 (H20)	692	693	602	602	91	92
2007 (H19)	1,481	1,484	1,340	1,340	141	144
2006 (H18)	553	559	465	465	88	94
2005 (H17)	901	905	815	816	85	89
平年	969	980	842	881	90	99



注：平成 21(2009)年は 9 月 30 日現在。

一方、来遊時期は奇数年には早く、偶数年には遅くなる傾向があります(図 2)。今年は来遊時期が遅かった前年と比較して 1 旬程度早まる傾向を示し、沿岸漁獲及び河川捕獲のピークはそれぞれ 8 月中旬、8 月下旬～9 月上旬となっています(図 2、図 3-1、図 3-2)。





カラフトマスの河川捕獲数は、沿岸の好漁を反映して 128 万尾(対前年同期比：139%、平年同期比：142%)と大幅に上回っており(表 1)、地域差があるものの、北海道全体ではふ化放流計画に必要な親魚を確保しています。

2 サケ来遊状況

- ・ 来遊数は 2,122 万尾（対前年同期比 125%）と前年を上回る
- ・ 10 月の来遊動向にも期待
- ・ 特に、本州地域は 10 月以降来遊が本格化

（全国）

平成 21 年 9 月 30 日現在のサケ来遊数（全国の沿岸での漁獲数と河川での捕獲数の合計）は 2,122 万尾（対前年同期比：125%）を示し前年を上回っていますが、平年と比較すると対平年同期比：88%を示し、やや下回る状況となっています（表 2）。

表 2：全国のサケ来遊数 単位：万尾

	9/30 現在	最終
2009（H21）	2,122	-
2008（H20）	1,698	5,290
2007（H19）	2,127	6,813
2006（H18）	2,566	6,860
2005（H17）	2,989	7,088
平年	2,418	6,402

（北海道）

北海道のサケ来遊数は 2,088 万尾（対前年同期比：126%、対平年同期比：89%）を示し、近年と比較すると平成 19（2007）年の 2,080 万尾とほぼ同程度となっています。（表 3、図 4-1、4-2）。

地域別では、太平洋側（根室～えりも以西海区）で 1,021 万尾（対前年同期比：115%、対平年同期比：76%）、日本海側（オホーツク海区及び日本海区）で 1,067 万尾（対前年同期比：138%、対平年同期比：108%）を示し、いずれも前年を上回る状況となっています（表 2）。

今後の見込みとして、平年では 10 月に 1,900 万尾程度の来遊数があること、10 月の来遊主群となる 2005 年級の中期（2005 年 10 月下旬～11 月中旬に採卵受精した種苗）放流割合は北海道全体で 39%を示し、前期（2005 年 10 月中旬までに採卵受精した種苗）の 41%と同程度となっていること、北海道系サケの回帰回遊ルートである千島列島周辺の 9 月の水温が 14.3 と比較的低くなっており、回帰率と回帰経路の水温との関係において 9 月の水温が低いと回帰率が上向く現象が認められること、などから引き続き前年を上回る来遊が期待されます。

表 3：北海道のサケ来遊数

単位：万尾

	北海道		北海道太平洋		北海道日本海	
	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終
2009 (H21)	2,088	-	1,021	-	1,067	-
2008 (H20)	1,661	3,871	886	2,364	775	1,507
2007 (H19)	2,080	5,277	1,142	3,241	938	2,037
2006 (H18)	2,515	5,359	1,114	2,807	1,401	2,553
2005 (H17)	2,920	5,641	1,393	3,144	1,527	2,497
平年	2,343	4,702	1,351	2,857	992	1,845

図 4-1 旬別サケ来遊数（北海道）

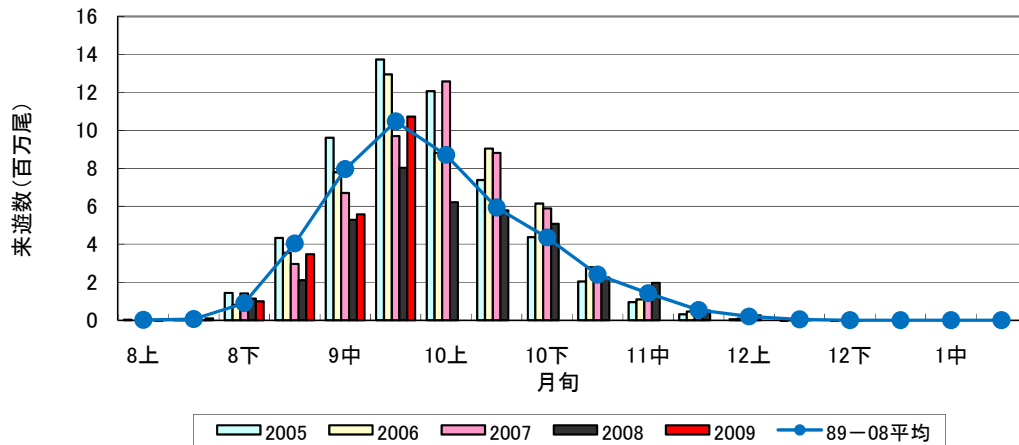
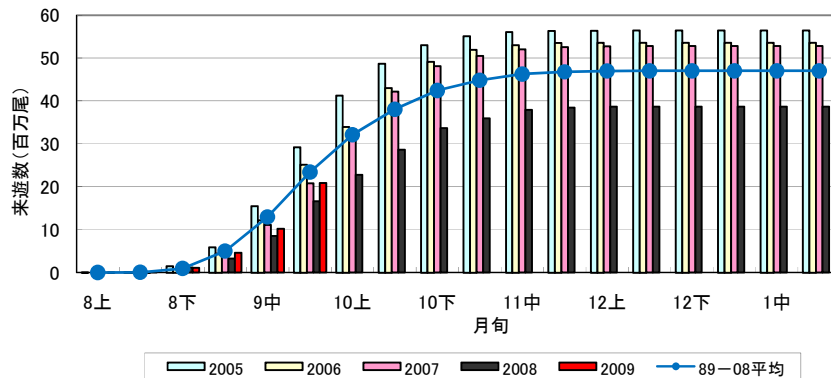


図 4-2 サケ来遊数（累計：北海道）



(本州)

本州のサケの来遊は主に太平洋（竜飛岬から東の青森県～茨城県）側の地域を中心に 34 万尾（対前年同期比：92%）を示し前年をやや下回る状況となっていますが、本州では 10 月以降に来遊が本格化しますので今後の動向に注目したいと思います（表 4）。

表 4：本州のサケ来遊数

単位：万尾

	本 州		本州太平洋		本州日本海	
	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終
2009 (H21)	34	-	33	-	1	-
2008 (H20)	37	1,419	37	1,359	0	60
2007 (H19)	48	1,535	48	1,444	0	91
2006 (H18)	53	1,472	52	1,348	0	125
2005 (H17)	66	1,447	68	1,328	1	119
平年	75	1,700	74	1,626	1	74

3 サケ河川捕獲状況

- ・河川捕獲数は 84 万尾（対前年同期比：131%）を示し、特に北海道の日本海側は 51 万尾（対前年同期比：176%）と前年を大幅に上回る
- ・種卵確保数は 2 億 22 百万粒（対前年同期比：189%）と前年を大幅に上回る

（全国）

平成 21 年 9 月 30 日現在のサケ河川捕獲数（全国の河川で人工ふ化放流用に捕獲されたサケ数）は 84 万尾（対前年同期比：131%）を示し前年を上回っていますが、平年と比較すると対平年同期比：76%となっています（表 5）。採卵数は漁業関係者や民間増殖関係者が人工ふ化放流に必要な種卵の確保に努めており、2 億 22 百万粒（対前年同期比：189%）を示し、北海道を中心に前年を大幅に上回る状況となっています。

表 5：全国のサケ河川捕獲数

	河川捕獲数（万尾）	
	9/30 現在	最終
2009（H21）	84	-
2008（H20）	64	394
2007（H19）	101	591
2006（H18）	134	647
2005（H17）	133	644
平年	110	485

（北海道）

北海道の河川捕獲数は 81 万尾（対前年同期比：133%）を示し、前年を上回る状況となっています（表 6、図 5-1、5-2）。地域別にみると、太平洋側が 30 万尾（対前年同期比：94%）なのに対して、日本海側では 51 万尾（対前年同期比：176%）と前年を大幅に上回っています。特に日本海側では採卵用親魚の確保のため中・南部地区で自主規制が行われ、その措置が効果的に現れているものと思われます。

また、平年と比較してみると、北海道全体では対平年同期比：78%を示しています（表 6）。地域別にみると、太平洋側では対平年同期比：61%を示し、日本海側の対平年同期比：93%と比べて少なく、特に根室海区は少なかった前年とほぼ同水準となっており、採卵用親魚の確保に向け油断できない状況となっています。

一方、河川そ上率（河川捕獲数／来遊数）は 3.8%（前年同期は 3.4%、平年同期は 4.4%）と前年より上回っていますが、旬別にみると 9 月上旬までで 4.5%、中旬で 3.9%、下旬で 3.6%と次第に下回ってきています。

このような状況を受け、各地域とも沿岸漁獲及び河川捕獲の状況を注視しながら、人工ふ化放流に必要な種卵の確保に向けた努力が行われています。

表 6：北海道のサケ河川捕獲数

単位：万尾

	北海道		北海道太平洋		北海道日本海	
	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終
2009 (H21)	81	-	30	-	51	
2008 (H20)	61	217	32	109	29	108
2007 (H19)	97	326	37	155	60	171
2006 (H18)	132	378	40	163	92	215
2005 (H17)	124	385	34	152	90	233
平年	104	310	49	148	55	162

図 5 - 1 旬別サケ河川捕獲数（北海道）

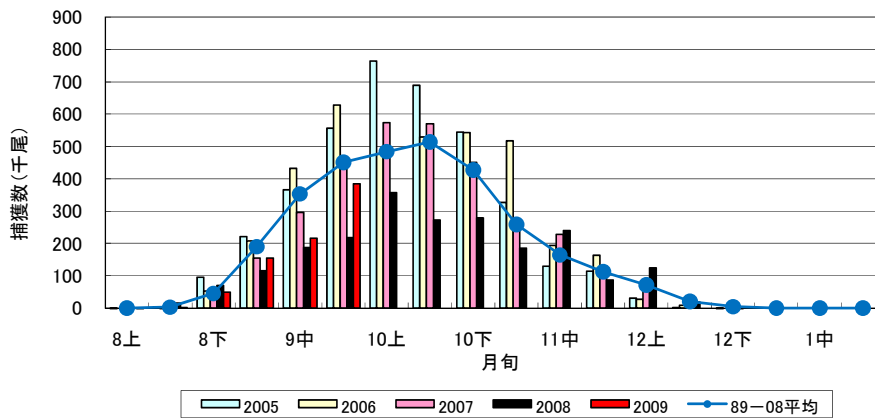
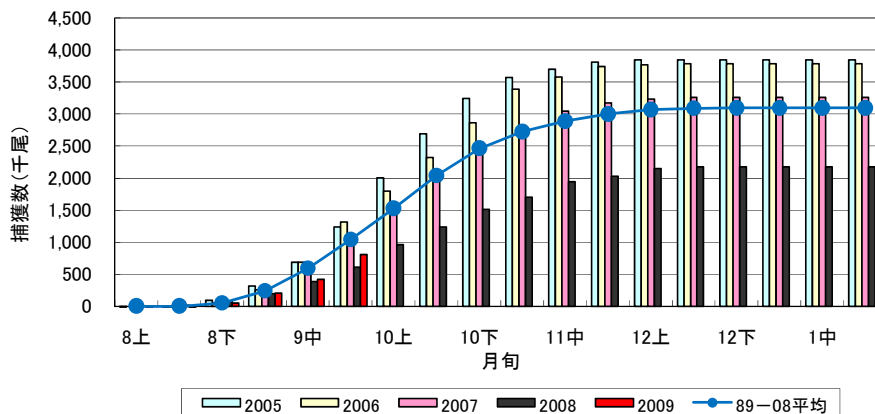


図 5 - 2 サケ河川捕獲数（累積：北海道）



(本州)

本州の河川捕獲状況は以下のとおりです (表 7)。

表 7 : 本州のサケ河川捕獲数

単位 : 万尾

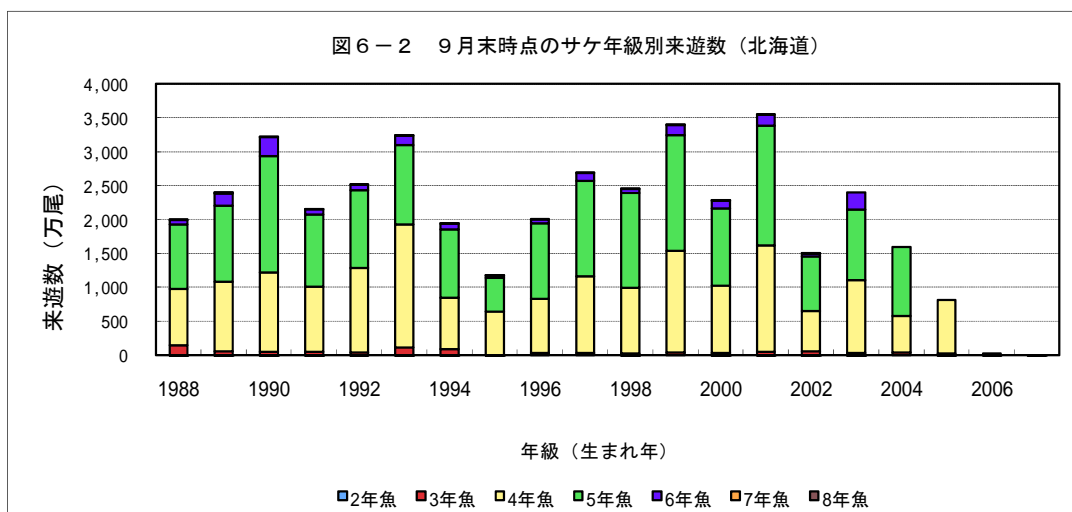
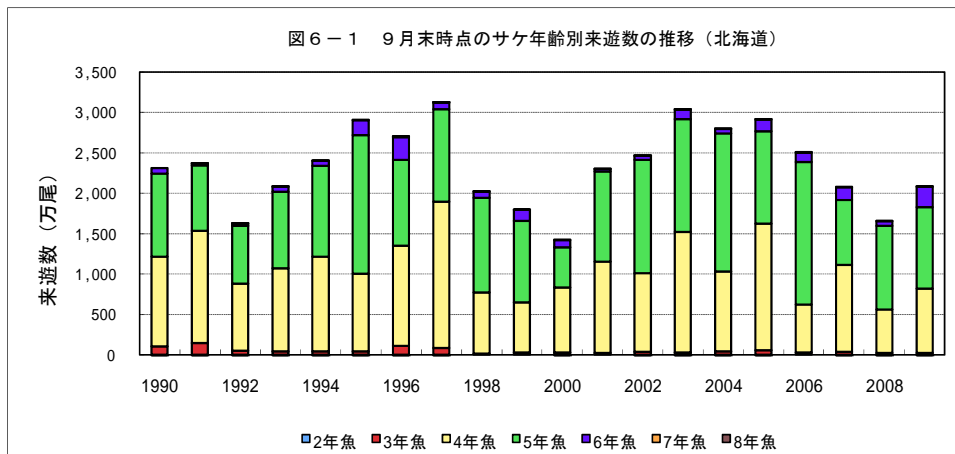
	本 州		本州太平洋		本州日本海	
	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終	9/30 現在	最終
2009 (H21)	3	-	3	-	0	-
2008 (H20)	3	176	3	150	0	26
2007 (H19)	4	265	4	219	0	45
2006 (H18)	6	240	6	185	0	84
2005 (H17)	9	259	9	206	0	53
平年	6	175	6	142	0	33

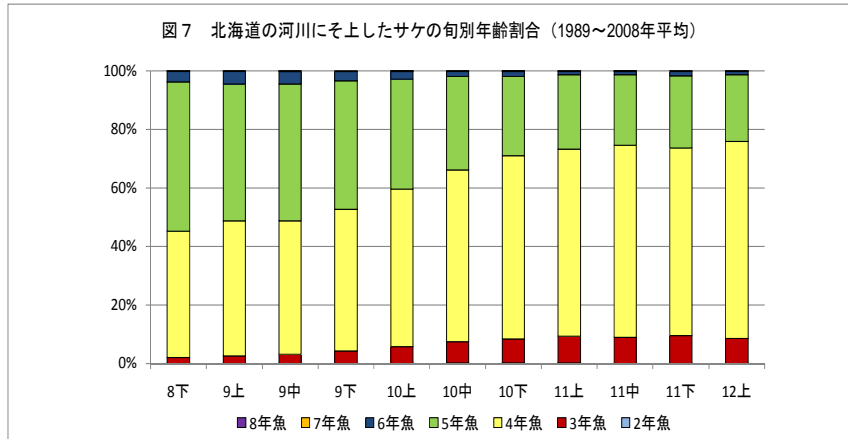
4 サケの年齢構成

- ・ 9 月末の年齢別来遊数を推計すると、4 年魚（2005 年級）以上が前年と比べて多い
- ・ 10 月以降の年齢構成は 3 年魚や 4 年魚の割合が高くなる見込み

北海道立水産孵化場とさけますセンターが北海道の河川に回帰したサケの年齢査定の途中経過をもとに 9 月末時点における年齢別来遊数を推計したところ、4 年魚（生まれ年が平成 17（2005）年）以上が前年と比べて多い結果となっています（図 6-1、6-2）。

サケの旬別年齢割合をみると、5 年魚や 6 年魚は早い時期に回帰し、3 年魚や 4 年魚は時期が進むにつれて比率が高くなっていく傾向があります（図 7）。今後の見込みとして、4 年魚以上の年級が前年を上回っていること、10 月以降は来遊主体が 4 年魚以下の若齢魚中心に移ることが予想されることから、引き続き前年を上回る来遊が期待されます。





5 サケの体サイズ

・1尾当たりの平均体重は北海道では前年をやや上回り、本州では前年並み

9月30日現在におけるサケの漁獲数と漁獲量から求めた1尾当たりの平均体重は、北海道では3.58kg(前年同期:3.45kg)と前年をやや上回り、本州では3.09kg(前年同期:3.08kg)と前年並みとなっています。

6 北日本の海況

気象庁における「海洋の健康診断表」によると、北海道周辺・日本東方海域の海面水温は、以下のようになっています。

9月18日発表より

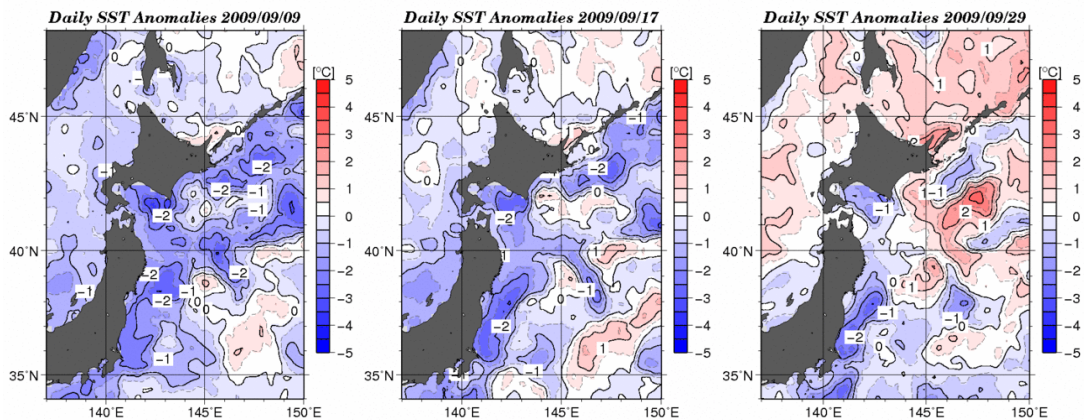
http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/hakodate/archive/2009/09_2/hakodate_sst/hakodate_sst.html

9月中旬の北海道周辺・日本東方海域の海面水温は、日高沖と三陸・常磐沿岸に平年より2℃以上低い海域がみられます。日本海北部とオホーツク海南部の海面水温は、平年並になっています。

9月30日発表より

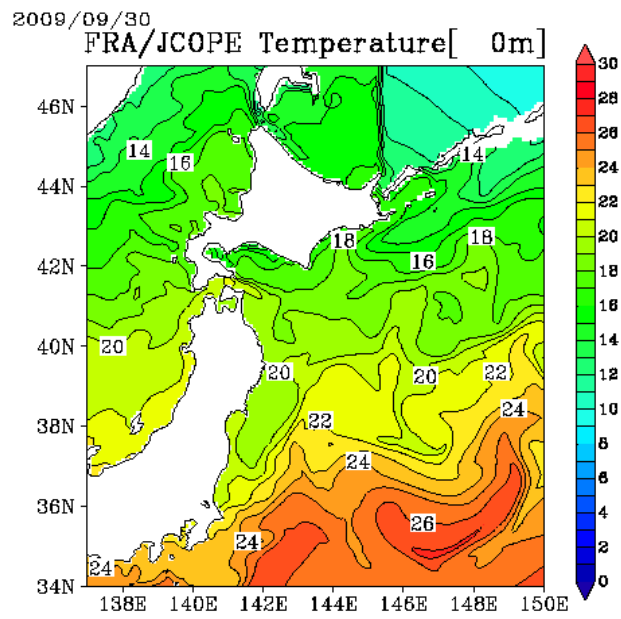
http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/db/hakodate/archive/2009/09_3/hakodate_sst/hakodate_sst.html

9月下旬の北海道周辺・日本東方海域の海面水温は、9月中旬に比べて平年より高い海域が広がりました。北緯42度・東経147.5度付近には、平年より3℃以上高い海域がみられます。また、日本海北部とオホーツク海南部では、平年より1℃以上高い海域がみられます。一方、釧路沖と日高沖には平年より1℃以上低い海域がみられ、宮城県沖から常磐沖にかけても、平年より2℃以上低い海域がみられます。向こう1か月、北海道周辺・日本東方海域の海面水温は、平年並か平年より低いでしょう。

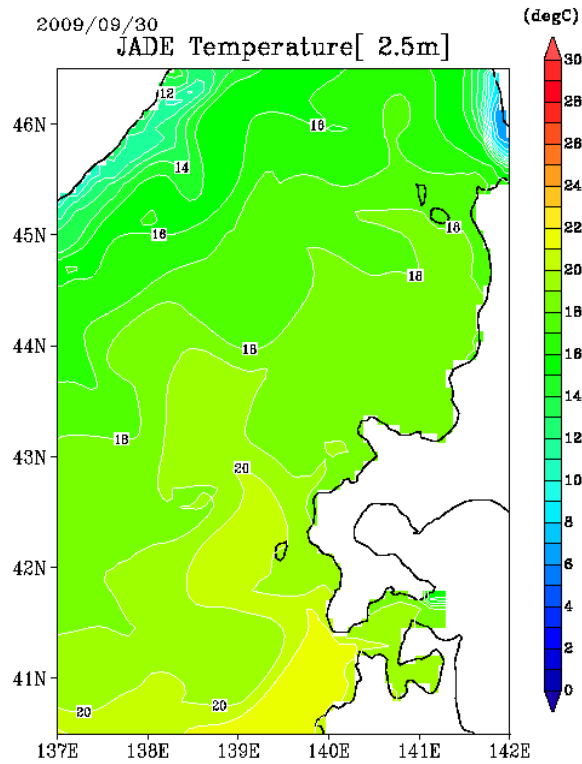


出典：気象庁 HP (http://www.data.kishou.go.jp/kaiyou/shindan/e_1/e_1.html)

なお、水産総合研究センターの「太平洋および我が国周辺の海況予測モデル (FRA-JCOPE)」 「日本海海況予測モデル (JADE)」では、北海道・東北ブロックおよび日本海の海況と2ヶ月間の予測を公開しており、一般の方も次の内容をご覧になれます。



(FRA-JCOPE) <http://ben.nrifs.affrc.go.jp/>



(JADE) <http://jade.dc.affrc.go.jp/jade/>